

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 未治療転移性前立腺癌の治療法に関する多施設共同コホート研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 古瀬洋 (泌尿器科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2025年3月31日

研究目的：未治療転移性前立腺癌の治療法は、抗癌剤や新規ホルモン療法薬の出現により、大きな変化を遂げています。しかしながら、これらの薬物の適応を示す明確な指標は存在しません。したがって、実臨床におけるこれら薬剤の使用法、治療の実態及びその治療成績を調査することは、今後の適切な患者選択、薬剤選択、および投与時期の決定にとって一定の意義を有すると考えられます。

方法：研究代表施設の藤田医科大学病院、その他の施設で未治療転移性前立腺癌に対し薬物療法を受けられた患者さんを対象とし、登録時に臨床・病理学的情報を診療録から取得します。

■ 対象となる患者さん

2018年1月1日～2023年3月31日の期間内で、当院で未治療転移性前立腺癌に対し薬物療法を受けられた方。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：

主要調査項目

- ・未治療転移性前立腺癌に対するホルモン療法薬、抗癌剤の使用時期及び使用期間

副次調査項目

- ・対象症例の年齢、Performance status(全身状態の指標)、臨床病期、病理組織型、PSA値、その他の患者背景に関する臨床データ。
- ・ホルモン療法薬、抗癌剤の奏効期間、副作用の有無、効果の有無。
- ・転移の有無や箇所、最終転帰、全生存期間。
- ・臨床検査値 (PSA値、リンパ球数、好中球数、Hb、血小板数、Ca、Alb、LDH、CRP等)。

■ 外部への試料・情報の提供

データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。

■ 研究組織

研究代表施設・研究代表者：藤田医科大学・泌尿器科 教授 白木良一

同関連施設：名古屋掖済会病院（担当者：石瀬仁司）、
西知多総合病院（担当者：平野泰広）

共同研究機関・研究責任者：

名古屋市立大学院医科学研究科 腎・泌尿器科学分野 講師 内木拓

同関連施設：安城更生病院（担当者：秋田英俊）、
豊田厚生病院（担当者：岩瀬豊）、
海南病院（担当者：窪田裕樹）、
江南厚生病院（担当者：坂倉毅）、
三重北医療センターいなべ総合病院（担当者：安藤亮介）、
名古屋徳洲会総合病院（担当者：黒川覚史）

浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 伊藤寿樹

同関連施設：遠州病院（担当者：高田三喜）、
聖隷三方原病院（担当者：古瀬洋）、
中東遠総合医療センター（担当者：松本力哉）

岐阜大学大学院 医学系研究科 泌尿器科 講師 中根慶太

同関連施設：松波総合病院（担当者：濱本幸浩）、
大垣市民病院（担当者：宇野雅博）、
西美濃厚生病院（担当者：岡野学）、
木沢記念病院（担当者：出口隆）

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
古瀬洋、泌尿器科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971